



前回の例会報告

第2166回例会3月1日(木)

於・例会場 PM 0 : 30~1 : 30

- 点鐘 田口会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング “奉仕の理想” 斉唱
- 四つのテスト唱和
- お客様紹介 高崎委員長
 - ・北村透様 (川口 RC)
 - ・小沼信介様 (大洗町上下水道課 課長)
 - ・猪瀬諭様 (大洗町上下水道課 上水道係長)
 - ・小松崎陽一様 (大洗町上下水道課 下水道主任)

○出席報告 関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
2月22日	23	2	1	92.36%	雨

○委員会報告

- ★雑誌委員会 木村委員長



今月は「水と衛生月間」また12日~18日はローターアクト週間です。途上国への水環境援助の記事、ローターアクトからロータリー会員へ、そしてバリー・ラシン次期RI会長へのインタビューが主な内容です。

横 P03→RI 会長メッセージはローターアクトの現状とロータリーとの更なる関係強化を呼びかけています。

横 P08→ラオス、ミクロネシア、タイ、ベトナムその他の井

戸・水道整備事業の各地区、クラブでの取り組みの紹介です。P15にはフィリピンとアメリカのクラブがグローバル補助金を活用して人工漁礁を設置し、漁業の復活、観光地となることで雇用機会ももたらされた、といった成功事例が掲載されています。

横 P16→ローターアクトからロータリアンになった会員たちの寄稿文です。水戸クラブの内藤学会員はローターアクトクラブのメリットとして①20代でリーダーシップの勉強ができる②生涯の友人が全国にできる③なんでもロータリアンに相談できる、の3点を上げています。また3月17日~18日全国ローターアクト研修会が水戸で開催されるとのことです。

横 P21→震災への支援活動の紹介ですが、当大洗クラブも7年前、被災クラブとして全国のロータリークラブからあたたかい支援を受けましたね。忘れないでいましょう。そして様々な機会にお返ししましょう。

横 P25→2025年の大阪万博誘致にご協力をとのことですが、具体的にはなにをするのかしら？現時点では「がんばれ！」としかねえ...？

横 P27→保延ガバナーの「ロータリーにNOはない」の文章が載っています。「NOと言わない」で通せるのは凄いことです。頭が下がります。

横 P31→「VISION QUEST」をグーグルで調べると「ネイティブ・アメリカンに伝わる成人の儀式で、自分自身の生き方探求の旅」とありました。バリー・ラシン次期RI会長率いる国際ロータリー(RI)はどのような方向性で何を目指すのでしょうか。『インスピレーションになろう』『ロータリーのビジョン声明』『世界を変える行動人』など次年度のキーワードが並びます。『クラブ対象のロータリー賞』の頁も含めて是非ご一読ください。

縦 P04→「食」に無頓着な私には、この「秘訣」は実行不可能に思えますが、皆様、特にベテラン会員にはおすすめで、文章も解りやすく内容も懇切丁寧で読みやすいので最後の「三原則」に留意して、どうぞ長生きして下さい。

縦 P16→『柳壇』を巡る話題あれこれ』に雑誌委員のわたくしは大いに共感を覚えます。今日ビジターで見えられた川口RCの北村透さんにお聞きしたところ、近隣の川口中央RCでも同じような企画で「友」への投稿をしているそうです。ホラ P20・21を見て下さい。川口中央2首、神奈川東3首しっかりと選ばれてますよね。.....我が大洗もかくありたし。どなたか投稿を。

縦 P25→石岡 87 クラブの活動が紹介されています。余計なことですがその記事の上の写真、ウォ！悲惨ですねえ。岡山後楽園 RC の皆さん本当にご苦労様。

縦 P20→さて、俳・歌・柳いきますか

俳壇では「柚子」の句に納得です。我が家でも正月の「雑煮」には必ず柚子の皮ひとかけらが入りました。私にとっても思い出の香です。

歌壇の第 2 首は驚きです。上句の恐ろしさを下句の柑橘が和ませます。凄い！

第 5 首に友部クラブの矢吹さんの歌が選ばれています。

10 首目の「くほんぶつ」は世田谷奥沢の九品仏浄真寺で詠まれたものでしょうか。何故一体がお留守なのかは分かりませんでした。境内に加藤楸邨の墓・句碑があるそうです。昔行った京都浄瑠璃寺の平安時代の 9 体の阿弥陀如来像は国宝でした。此方のほうが有名かな？

柳壇は相変わらず「毒(ブラックジョーク)」が効いている句が多いですね。読んでいて楽しい。またまた「ロータリーファスト」が出てきました。これって「ファースト」じゃないんですか？

秀逸は断然これ！ロータリアンには全く関係ない句でしょうが…

「功績に厚い感謝の薄い紙」

○幹事報告

加部東幹事

・幹事メモの報告

○卓話 「大洗町上下水道課様」

★「大洗町上水道について」

猪瀬諭様（大洗町上下水道課 上水道係長）



大洗町の行政人口は 17,318 人で、現在給水人口は 17,282 人となっています。年間給水量は 2,936,943m³ で一日平均給水量は 8,046 m³、一日最大給水量は 10,687 m³、一人一日最大給水量は 618ℓです。取水は夏海浄水場に 6 井、大貫浄水場に 1 井ある 7 本の井戸による地下水（井戸）と、2017 年 3 月 31 日現在の契約水量が 4,016 m³ となっている県水（那珂川の国田大橋付近にある取水場から取水された水）によって賄われています。その割合は井戸水が 70%、県水が 30%です。浄水場は夏見浄水場と大貫浄水場の 2 か所、配水場は中央配水場の 1 か所で、配水管総延長は約 129km、石綿管約 29km、ダクタイル鉄管約 56km、硬質塩化ビニール管約 42km、その他約 2km となっています。

★大洗町の下水道について

小松崎陽様（大洗町上下水道課 下水道主任）

私たちが使った汚れた水は、地下にある下水道管を通して、「下水処理場」という場所できれいにします。そしてきれいになった水を川に戻しています。下水道の役割は、街をきれいにすることと、「汚水」を浄化して川や海などに戻すことで、水質を保全し水環境をよみがえらせる働きをしています。下水道の整備とともに汚れた川がきれいになり、本来の生態系が復活します。大洗町の下水道は、ひたちなか市にある那珂久慈浄化センターで処理され、太平洋に戻されています。2017 年 3 月 31 日現在、大洗町の処理状況は人口 17,318 人



(7,493 世帯) 53.87%の方が利用可能で、そのなかの 62.49%の方が接続しています。接続している方は 5,831 人(2,534 世帯)で、人口の割合では 33.67%、世帯の割合では 33.82%となっています。茨城県に住む約 295 万人のうち、下水道に接続できるのは約 181 万人。でも、実際に接続しているのは約 162 万人で、約 19 万人が未接続です。ということは、茨城県の下水利用可能の人口割合は 61.36%で、接続している人口割合は 54.92%となります。先ほど示した大洗町の普及率 53.67%は県内 44 市町村中 21 位、接続率 62.49%は県内 44 市町村中 37 位となっています。都道府県別下水道普及率の全国平均は 78.3%で、茨城県の 61.3%は全国 47 都道府県中 33 位となります。また、下水道は使用可能になった土地に住んでいる人しか使用できませんので、使用できない地域にお住まいの方との負担の公平性を図るため、供用開始した地区の方から受益者負担金を徴収し、工事費に充当しています。下水道 PR の取り組みとして、7 月のクリーンアップ大洗、9 月の下水道の日に広報活動を行うほか、小学 4 年生に「下水道のはなし」という副教材を利用しています。また、大洗町は下水道普及率が県内平均より低いので、「下水道の存在を知ってもらうため、今までと違う PR が必要」と考え、ガルパンのマンホールを作成しました。マンホールには、作中で主人公が乗っている戦車の走行痕がデザインされていて、鹿島臨海鉄道大洗駅と大洗マリンタワーを結ぶ駅前海岸線（きらめき通り）の歩道のどこかにありますが、定期的に移動します。移動の度に町公式ツイッターでヒントを投稿します。ご清聴ありがとうございました。



次回例会 第2168回例会
3月15日(木) 12:30~

於：例会場
卓話 土山会員

今月は水と衛生月間です。

今月のロータリーレート \$1=¥108